

平成 27 年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会

議事次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

(1) 議案第 1 号 平成 26 年度事業報告および決算報告、
会計監査報告について

(2) 議案第 2 号 平成 27 年度事業計画（案）および
予算（案）について

(3) 議案第 3 号 役員の変更について

4. その他

日 時：平成 27 年 5 月 25 日（月） 16:30～17:45

場 所：法華院温泉別館 花山酔

平成27年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会 出欠表

協議会規約第7条					役員会	総会	懇親会	備考	
役員	1	会長	九重町	町長	坂本 和昭	○	○	○	
	2	副会長	竹田市	市長	首藤 勝次	○	○	欠	代理:久住支所 支所長 荒巻 英俊
	3	理事	阿蘇自然環境事務所	所長	森 一弘	○	○	○	
	4	理事	大分県 企画振興部 観光・地域局	局長	阿部 邦和	○	○	欠	代理:景観まちづくり室 室長 廣瀬 高博
	5	理事	九重・飯田高原観光協会	会長	武石 良一	○	○	○	
	6	理事	筋湯温泉観光協会	会長	吉谷 充浩	欠	○	○	
	7	理事	釜ノ口温泉観光協会	会長	清水 弘明	○	○	○	
	8	理事	久住高原観光協会	会長	神田 長徳	欠	欠	欠	
	9	監事	有限会社 みやま商店	社長	熊谷 薫	○	○	○	
	10	監事	おおいた観光サービス(オーベルジュ・コスモス)	取締役支配人	中野 豊文	○	○	○	
					8	9	7		

協議会規約第9条					役員会	総会	懇親会	備考	
幹事	11	幹事	くじゅう自然保護官事務所	自然保護官	中村 仁	○	○	○	
				自然保護官補佐	田中 脩斗	-	○	○	
	12	幹事	大分県 企画振興部 観光・地域局 景観・まちづくり室	室長	廣瀬 高博	(○)	(○)	欠	兼 代理:大分県企画振興部 観光・地域局長
	13	幹事	大分県 生活環境部 生活環境企画課	課長	山本 章子	-	○	欠	代理:大分県生活環境企画課 課長補佐 久住良和
	14	幹事	九重町商工観光・自然環境課	課長	麻生 通教	-	○	○	
	15	幹事	竹田市久住支所 産業建設課	課長	安達 敬一	-	○	欠	代理:久住支所 産業建設課 主任 足達 康祐
	16	幹事	九重・飯田高原観光協会	副会長	渡邊 秀雄	-	○	欠	
	17	幹事	有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	代表取締役	弘藏 岳久	-	○	○	
	18	幹事	株式会社おおいた観光サービス	代表取締役	奥村 伸幸	-	○	○	
	19	幹事	九重の自然を守る会	理事長	渡辺 格雄	-	○	○	
	20	幹事	九重森林公園株式会社	取締役支配人	高橋 裕二郎	-	欠	欠	
	21	幹事	有限会社牧の戸畔レストハウス(牧ノ戸売店)	支配人	古賀 透	-	○	○	
		幹事	有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	常務取締役	安部 智子	-	○	○	
	幹事	九重ふるさと自然学校	代表	川野 智美	-	○	○		
					1	12	9		

					役員会	総会	懇親会	備考
22		大分森林管理署	署長	川畑 宏二	-	○	欠	
23		大分西部森林管理署	署長	秋山 郁男	-	○	欠	
24		株式会社まきのとコーポレーション(九重観光ホテル)	代表取締役社長	小池 由明	-	○	○	
25		飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター)	代表取締役	原口 嘉哲	-	○	○	
26		やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)	取締役	上田 恒久	-	○	○	
28		寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	社長	武石 良一	-	(○)	(○)	兼 九重飯田高原観光協会会長
30		学校法人福岡大学	副学長	馬本 誠也	-	欠	欠	
			法人事業部長	森 美智雄	-	○	○	
31		株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	支配人	森山 信行	-	欠	欠	
32		株式会社エル・ランチョ・グランデ	代表取締役	瀬戸 富美	-	○	欠	
33		九重町飯田農業協同組合(飯田高原ドライブイン)	課長	濱田 由紀夫	-	欠	欠	
34		有限会社くじゅう倶楽部(くじゅう倶楽部)		佐藤 克聡	-	欠	欠	
35		九重ヒュッテ	支配人	山口 幸三	-	欠	欠	
35		大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家	所長	丸尾 研治	-	○	○	
36		飯田高原デザイン会議	議長	高橋 裕二郎	-	(欠)	(欠)	兼 九重森林公園株式会社支配人
38		NPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	理事長	上好 温	-	○	欠	
39		株式会社橋本建設	社長	渡邊 始枝	-	○	○	
40		株式会社ア・マ・ファソン(オーベルジュ ア・マ・ファソン)	社長	小幡 洋二	-	欠	欠	
41		株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	総支配人	伊藤 靖兼	-	欠	欠	
42		有限会社吉武建設	代表取締役	吉武 勝広	-	○	○	
43		くじゅうネイチャーガイドクラブ	代表	増田 啓次	-	○	○	代理:くじゅうネイチャーガイドクラブ 監事 山本昌志
					12	8		

協議会規約第11条					役員会	総会	懇親会	備考
事務局	事務局長	九重の自然を守る会	事務局長	小山 正記	○	○	○	
	事務局	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループリーダー	工藤 和典	○	○	○	
	事務局	長者原ビジターセンター	センター長	種村 英大	○	○	○	
					3	3	3	
事務局補助	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループ	日隈 慶子	-	○	○		
事務局補助	長者原ビジターセンター	自然解説員	村松 優子	-	○	○		
事務局補助	長者原ビジターセンター	自然解説員	鳥越 遥	-	○	○		
事務局補助	長者原ビジターセンター	自然解説員	山下 由貴子	-	○	○		
					0	4	4	

役員会計	総会計	懇親会計
12	40	31

平成27年度 くじゅう地区管理運営協議会 総会席次表
 会場：法華院温泉別館 花山醉

長者原ビジターセンター センター長 種村 英次	九重町役場商工観光 ・自然環境課 リニアセンター 工藤 和典	九重の自然を守る会 事務局長 小山 正記	九重町長 坂本 和昭 様 会長	九重町役場商工観光 ・自然環境課 日隈 慶子	長者原ビジターセンター 村松 優子	長者原ビジターセンター 鳥越 遥	長者原ビジターセンター 山下 由貴子
事務局							

大分県 企画総務部 観光・地域局 局長 (代理) 豊前、まちづくり(室長) 廣瀬 高博 様	環境省 阿蘇自然環境事務所 所長 森 一弘 様	竹田市 市長 支所長 (代理) 久住支所 荒巻 英俊 様	有限会社みやま商店 社長 熊谷 薫 様	九重・飯田高原観光協会 会長 兼の地産株式会社 社長 武石 良一 様	九重・飯田高原観光協会 会長 吉谷 充浩 様		
--	-------------------------------	------------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	--	--

久住支所 産業建設課 課長 (代理) 産業建設課 主査 足達 京悟 様	九重町役場商工観光・自然環境課 課長 麻生 通教 様	大分県 生活環境部 生活環境企画課 課長 (代理) 生活環境企画課 課長補佐 久住 真和 様	釜ノ口温泉観光協会 会長 清水 弘明 様	株式会社おおいの観光サービス (オーペル・ジュエ・コスモス) 取締役 支配人 中野 豊文 様			
---	----------------------------------	---	----------------------------	---	--	--	--

環境省 くじゅう自然保護官事務所 自然保護官 中村 仁 様	大分西部森林管理署 署長 秋山 郁男 様	大分森林管理署 署長 川畑 宏二 様	九重の自然を守る会 理事長 渡辺 格雄 様	九重・飯田高原観光協会 副会長 渡邊 秀雄 様	有限会社牧の戸畔レストハウス (牧ノ戸売店) 支配人 古賀 透 様		
-------------------------------------	----------------------------	--------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--	--	--

飯田高原観光株式会社 (長者原ヘルスセンター) 社長 原口 嘉哲 様	株式会社まきのとコーポレーション (九重観光ホテル) 代表取締役社長 小池 由明 様	学校法人福岡大学 法人事業部長 森 美智雄 様	有限会社法華院温泉 (法華院温泉山荘) 代表取締役 弘藏 岳久 様	大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家 所長 丸尾 研治 様	有限会社星生温泉 (九重星生ホテル) 常務取締役 安部 智子 様	一般財団法人セブン・イレフ ン記念財団 九重ふるさと自然学校 代表 川野 智美 様	
---	---	-------------------------------	--	--	---	---	--

NPO法人久住高原 みちくさ室内俱楽部 理事長 上好 温 様	やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ) 取締役 上田 恒久 様	有限会社吉武建設 代表取締役 吉武 勝広 様	株式会社橋本建設 社長 渡邊 始枝 様	株式会社エール・ランチョ・グラ ンデ 代表取締役 瀬戸 富美 様	くじゅうネイチャーガイドクラブ 代 理 (代理) くじゅうネイチャーガイドクラ ブ(監事) 山本 昌志 様	環境省 くじゅう自然保護官 事務所 自然保護官補佐 田中 脩斗 様	
---	--	------------------------------	---------------------------	---	---	--	--

入口

(議案第1号)

平成26年度事業報告【平成26年度活動報告冊子参照】

1. 長者原ビジターセンター等の施設の管理運営

(1) ビジターセンター(タデ原木道を含む)、公衆トイレ等の管理運営を環境省から受託し、正規職員4名を雇用して施設等の適切な維持管理を行うとともに、公園案内の国際化に努めた。(特に英語対応)。

(2) 5～10月の繁忙期に、開館時間を17時まで延長(通常16時)し、利用者サービスの充実を図った。

(3) 公衆トイレ清掃は、職員による通常清掃に加え、繁忙期には清掃ボランティアの協力(週2回程度)を得て、トイレを清潔に保てるよう管理を行った(1日3～6回)。

(4) 長者原園地およびその周辺の景観の維持管理については、管理者である環境省による維持管理を補助する形で、草木の刈り払いや枝打ち、植栽木の剪定、芝刈り等を適宜行った。

2. 国立公園利用者への情報提供等

(1) ビジターセンターで、国立公園の利用案内及び各種情報を提供した。1月には平成9年にリニューアルオープンしてからの入館者が、100万人を突破したことから、記念セレモニーを実施した。

【平成26年度利用者数：129,208人(前年比約5,000人増)】

【平成9年7月から平成27年3月31日までの累計入館者数：1,013,227人】

(2) ビジターセンターで、くじゅうの自然を紹介した手作りの展示や、実物に触れることのできるハンズオン展示の制作・更新を行った。

(3) ビジターセンターで、「くじゅうの森をたんけん!クイズスタンプラリー」と題して、くじゅうの自然を学ぶことのできる企画展示を実施した。(平成26年度利用者数：1,326人)

(4) 英語での利用案内・解説ができる者を、土・日・祝日に配置し、利用案内の国際化に努めた。また、どの職員でも英語での利用案内・解説ができるように、館内やタデ原、登山や周辺施設の利用案内の英語対応マニュアルを作成し、閲覧利用できるようにした。

(5) 九重の自然を守る会、環境省パークボランティアの協力により、土・日曜・祝日等、利用者が多い時期に、タデ原湿原木道を利用して、参加費無料で自然観察会を実施した。

【平成26年度：開催数52回、参加者数776人】

(6) 毎日、午前と午後に、職員による、タデ原のミニガイドウォーク(30分間)を実施した。

【平成26年度：開催数56回、参加者数153人】

(7) 職員による自治体および学生の視察研修などの受け入れを実施した。

【平成26年度利用者数：開催数14回、参加者数297人】

(8) ビジターセンターで、毎月第4日曜日を中心に、くじゅうの自然に関わる人達を講師に、くじゅうの自然の魅力について学ぶ、公開講座「サロン・de・くじゅう」を実施した。

【平成26年度：開催数6回、参加者数115人】

(9) 公衆トイレで、くじゅうの自然を紹介する「トイレde写真館」を、公募コンテスト形式で実施し、公衆トイレの衛生管理と写真展示の充実を図った。

(10) ビジターセンターの情報提供誌「長者原だより」を春・夏・秋・冬の計4号発行し、会員および関係各所に配布した。また、タデ原の自然情報を、随時、近隣のホテル・旅館に提供した。

(11) ビジターセンターカウンターで、利用者へ物品の販売を行った。また、くじゅう地域の自然を紹介する、クリアファイルなどのオリジナル商品の制作を行った。

(12) インターネットのブログやフェイスブックを活用して、くじゅう地域の最新の自然情報を配信した。フェイスブックにおいては、海外の利用者への情報提供として、英語併記を行った。

3. くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動

(1) 九重の自然を守る会などに協力し、くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動や登山道保全整備活動を随時行った。(11月には玖珠農業高校と、長者原~雨ヶ池線を整備)

(2) 牧ノ戸峠駐車場および登山口周辺において、ごみの状況確認及びごみ収集を適時行った。

(3) 自然公園クリーン作戦等に協力し、美化意識の普及啓発を行った。

(4) 飯田高原野焼き実行委員会に協力し、タデ原の防火帯づくりおよび野焼きを実施した。

(5) 環境省・日本自然保護協会の「モニタリングサイト1000里地調査」として、タデ原湿原周辺の植物相について、九重の自然を守る会と連携しながらモニタリング調査を行った。

(6) 日本森林林業振興会からの助成事業として、レクリエーションの森(くじゅう山風景林)の整備の一環で、扇ヶ鼻周辺のミヤマキリシマ群落保護のための除伐作業や、男池園地遊歩道沿いの、樹名板の設置を行った。⇒参照：くじゅう山風景林ミヤマキリシマ保全活動 収支決算書

4. 地域での環境教育活動

(1) 地元子どもたちに、くじゅう地域の自然や文化についての学習や自然環境保全活動を推進するため、「飯田高原お宝探検隊」を実施し、地域教育に協力した。

5. 登山道等の保全・維持管理作業

(1) 関係各所と協力して、随時登山道等の保全作業を行った。

(2) 登山道の老朽化している道標について、新たに3基(涌蓋山疥癬湯分岐、扇ヶ鼻赤川分岐、平治岳大戸越)を制作し、計5基(中岳・稲星山分岐、大船山段原を含む)の道標の交換を行った。

6. 利用者への適正な指導

(1) 国立公園のマナー啓発や登山利用等について、随時、利用者へ適正な利用指導を行った。

(2) ゴールドンウィークやミヤマキリシマ、紅葉の繁忙期に、くじゅう連山最大の登山口である牧の戸峠登山口にて、登山マナーや登山届の提出を呼びかける、登山ミニレクチャーを実施し、登山者に対するマナーの普及啓発活動を行った。【平成26年度：開催数9回】

(3) くじゅう地区管理運営協議会で制作した、マナーチラシの配布を行った。また、海外の利用者の国立公園利用マナー向上のために、マナーチラシの英語化及び韓国語化を実施・制作し、配布を行った。

7. その他業務

(1) ビジターセンター管理運営の向上を目的として、先進地へ職員を派遣し、視察研修を行った。

(2) 阿蘇くじゅう国立公園指定80周年記念式典に、80周年記念事業実行委員会の事務局として、運営に参画した。また、同会場で地元住民の協力を得て、「くじゅうフェス in 長者原」を実施した。

(3) 環境省による長者原ビジターセンター展示改修工事の内容策定について、随時協力を行った。また3月28日に行われた、長者原ビジターセンターリニューアルオープン式典の運営に協力した。

(4) 九重町の生物多様性保全対策協議会に委員として参加し、生物多様性戦略づくりに参画した。

平成26年度 収支決算書

(収入の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金	847,812	847,812	0	
前年度繰越金(職員3ヶ月分)	1,900,000	1,900,000	0	3か月分運営管理費
負担金	2,335,000	2,335,000	0	
賛助会費	50,000	50,000	0	
VC管理受託	14,148,000	14,148,000	0	環境省12ヶ月分
長者原園地・トイレ清掃管理受託	939,600	939,600	0	
雑収入	139,588	209,438	69,850	利息、ガイドウォーク参加料、80周年補助員等
物品販売費	600,000	837,470	237,470	
収入合計	20,960,000	21,267,320	307,320	

(支出の部)

項	目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
	会議費	200,000	196,340	3,660	総会等
管理費	人件費	11,750,000	10,417,543	1,332,457	管理人件費×4(国際化1月～)、社会保険料
	研修交通費	380,000	281,497	98,503	業務交通費、研修(自然観察指導員研修、子どもラムサール、九十九島VC等)
	VC等施設管理費	900,000	666,990	233,010	カラーコピー機、清掃等の外注
	水道光熱費	150,000	36,648	113,352	水道組合負担金
	通信運搬費	250,000	229,823	20,177	電話・インターネット
	消耗品費	850,000	598,316	251,684	トイレ用品、展示用品等
	備品費	500,000	481,024	18,976	ワイヤレスマイクセット、PC、事務用机等
	修繕費	80,000	0	80,000	
	情報費	150,000	146,705	3,295	図書購入等
	計	15,010,000	12,858,546	2,151,454	
事業費	販売物品仕入費	900,000	669,869	230,131	物品の仕入れ
	自然環境保全費	200,000	162,974	37,026	野焼き活動、クリーン作戦、外来種等
	利用者サービス	1,130,000	1,058,883	71,117	観察会、清掃ボランティア、マナーチラシ
	登山道等保全作業費	832,000	666,910	165,090	道標×3基、ロープ等
	80周年記念事業費	168,000	167,776	224	スタッフ弁当代等
	計	3,230,000	2,726,412	503,588	
	特別会計繰出金	320,000	320,000	0	KODOMOラムサール
	予備費	2,200,000	0	2,200,000	
	合計	20,960,000	16,101,298	4,858,702	

翌年度繰越金

21,267,320－16,101,298＝ 5,166,022 円

* 320万円については、新年度当初、負担金や環境省からの管理受託金の入金がないため、約3ヶ月分のビジターセンター等運営管理費に充当する。

平成26年度 負担金収入内訳

(単位:円)

負担者	本年度予算額	本年度決算額	比較増	摘要
大分県	185,000	185,000	0	
九重町	1,000,000	1,000,000	0	
竹田市	100,000	100,000	0	
九重・飯田高原観光協会	150,000	150,000	0	
筋湯温泉観光協会	100,000	100,000	0	
釜ノ口温泉観光協会	30,000	30,000	0	
久住高原観光協会	50,000	50,000	0	
飯田高原観光株式会社 (長者原ヘルスセンター)	45,000	45,000	0	
株式会社おおいた観光サービス (オーベルジュ・コスモス)	45,000	45,000	0	
やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ)	45,000	45,000	0	
株式会社九重西鉄ホテル (九重西鉄ホテル花山酔)	35,000	35,000	0	
有限会社みやま商店 (ドライブステイ みやま)	25,000	25,000	0	
寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	10,000	10,000	0	
有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	30,000	30,000	0	
学校法人福岡大学	200,000	200,000	0	
株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	20,000	20,000	0	
株式会社まきのとコーポレーション (九重観光ホテル)	10,000	10,000	0	
九重ヒュッテ	10,000	10,000	0	
株式会社エル・ランチョ・グランデ	10,000	10,000	0	
有限会社牧の戸峠レストハウス (牧ノ戸峠売店)	20,000	20,000	0	
九重町飯田農業共同組合 (飯田高原ドライブイン)	20,000	20,000	0	
有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	30,000	30,000	0	
有限会社くじゅう倶楽部	20,000	20,000	0	
九重森林公園株式会社	30,000	30,000	0	
株式会社橋本建設	25,000	25,000	0	
株式会社ア・マ・ファソン (オーベルジュ ア・マ・ファソン)	20,000	20,000	0	
株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	20,000	20,000	0	
飯田高原デザイン会議	10,000	10,000	0	
NPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	10,000	10,000	0	
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 (九重ふるさと自然学校)	10,000	10,000	0	
有限会社吉武建設 (くじゅうやまなみキャンプ村)	20,000	20,000	0	
負担金計	2,335,000	2,335,000	0	

平成26年度 賛助会費収入内訳

(単位:円)

負担者	本年度予算額	本年度決算額	比較増	摘要
九州横断観光株式会社 (朝日台レストハウス)	10,000	10,000	0	
九州電力株式会社 (八丁原発電所)	10,000	10,000	0	
九州林産株式会社 (湯布院事務所)	10,000	10,000	0	
福岡県中学校体育連盟	10,000	10,000	0	
福岡県高等学校体育連盟	10,000	10,000	0	
負担金計	50,000	50,000	0	

くじゅう山風景林ミヤマキリシマ保全活動 収支決算書

(収入の部)

項目	決算額(円)
林業振興会補助	1,200,000
くじゅう地区管理運営協議会一般会計より(自然環境保全費)	17,153
合計	1,217,153

(支出の部)

項目	決算額(円)
消耗品費	634,250
備品費	502,546
活動費	74,309
雑費	6,048
合計	1,217,153

費目	品目	個数	単価	金額	備考
消耗品費	ノコギリ替刃	20	1,430	28,600	ARS剪定鋸キャンパワープロ24用替刃
消耗品費	チェーンソーオイル	18	516	9,288	AZ水溶性チェーンソーオイル 1L
消耗品費	目立て機用替え砥石	5	848	4,240	ニシガキ 軸付ダイヤモンド砥石4.0mm
消耗品費	目立て機用替え超硬砥石	1	1,280	1,280	ニシガキ 超硬ビット4.0mm
消耗品費	チェーンソー用デブス調整器	1	2,850	2,850	ニシガキチェーンソー用デブス調整器
消耗品費	ゴーグル	30	1,080	32,400	トラスコ中山 飛来粉塵用セーフティゴーグル曇り止めレンズ
消耗品費	軍手	10	910	9,100	すべり止め付き手袋 ブルーM
消耗品費	チェーンソー替ガイドバー	3	3,844	11,532	マキタ 10インチ ガイドバー(マキタME230T適合)
消耗品費	チェーンソー替刃	12	2,300	27,600	25AP-60E(マキタME230T適合)
消耗品費	チェーンソー替刃	8	2,690	21,520	91PX-52E
消耗品費	チェーンソー替ガイドバー	4	4,410	17,640	14インチ ガイドバー
消耗品費	ヤスリホルダー	1	1,570	1,570	ヤスリホルダー 4.0mm
消耗品費	ソーチェーン用丸ヤスリ	1	2,400	2,400	ツムラソーチェーン用丸ヤスリ4.0mm1ダース(12本入)
消耗品費	救急セット	2	4,670	9,340	エマーゼンシー エイドクルー
消耗品費	ノコギリ	30	2,450	73,500	刃長:24cm、ARS剪定鋸キャンパワープロ24
消耗品費	剪定ばさみ	15	4,320	64,800	ARS 剪定鋏ブイエスエイトVS-8Z
消耗品費	なた	20	8,242	164,840	西山商会上製「腰鉈24cm」(鞘付き) 両刃 細身10・中巾10
消耗品費	鎌	20	2,100	42,000	西山商会特製両刃土佐型中厚鎌18cm 39cm柄付
消耗品費	ヘルメット	30	2,760	82,800	通気孔付きヘルメット
消耗品費	ポイズンリムーバ	5	2,150	10,750	エクストラクター ポイズンリムーバー AP011
消耗品費	電動目立て機	2	8,100	16,200	ニシガキ プロ林業家仕様 N-823
小計				634,250	

費目	品目	個数	単価	金額	備考
備品費	チェーンソー(小型)	6	30,856	185,136	マキタ250mm 2.5kg エンジンチェーンソー ME230T
備品費	チェーンソー(中型)	4	27,086	108,344	日立 350mm 4kg CS33EDTP
備品費	背負子	10	14,688	146,880	エバニュー メタリックポーン
備品費	エアークンプレッサー	1	62,186	62,186	マキタ 最高圧力1.27Mpa
小計				502,546	

費目	品目	個数	単価	金額	備考
活動費	保険代	68	186	12,648	JAイベント保険 68人×2日
活動費	弁当代	29	500	14,500	29人×1日
活動費	弁当代	53	520	27,560	53人×1日
活動費	飲料代等			19,601	飲料等
小計				74,309	

費目	品目	個数	単価	金額	備考
雑費	振込手数料			6,048	合計
小計				6,048	

合計				¥1,217,153	
----	--	--	--	------------	--

特別会計

平成26年度 KODOMOラムサール 収支決算書

(収入の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
くじゅう地区管理運営協議会 一般会計繰入金	320,000	320,000	0	
収入合計	320,000	320,000	0	

(支出の部)

項目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減	摘要
謝金	20,000	0	20,000	
旅費	250,000	0	250,000	
食費・宿泊費	36,000	0	36,000	
予備費	14,000	0	14,000	
支出合計	320,000	0	320,000	

翌年度繰越金

$$320,000 - 0 = 320,000 \text{ 円}$$

会計監査報告

規約第 8 条の規定により、平成 26 年度の会務並びに会計を監査した結果、
証拠書類及び帳簿等の内容は、適正に処理されていることを認めます。

平成 27 年 7 月 22 日

くじゅう地区管理運営協議会

監事 有限会社みやま商店

熊谷 薫 

監事 株式会社おおいた観光サービス

オーベルジュ・コスモス

中野 豊 

(議案第2号)

平成27年度事業計画(案)

1. 長者原ビジターセンター等の施設の管理運営(別添参照)

(1) ビジターセンター(タデ原木道を含む)、公衆トイレ等の管理運営を環境省から受託し、正規職員4名を雇用して施設等の適切な維持管理を行うとともに、公園案内の国際化に努める(特に英語対応)。

また、5～10月の繁忙期には、開館時間を17時まで延長(通常16時)し、利用者サービスの充実に努める。

(2) 公衆トイレ清掃は、職員による通常清掃に加え、繁忙期には清掃ボランティアの協力(週4回程度、年間180日)を得て、トイレを清潔に保てるよう管理する(1日3～6回)。

(3) 長者原園地およびその周辺の景観の維持管理については、管理者である環境省による維持管理を補助する形で、草木の刈り払いや枝打ち、植栽木の剪定、芝刈り等を適宜行う。

2. 国立公園利用者への情報提供等

(1) ビジターセンターで、利用案内及び各種情報を提供する。

(2) ビジターセンターで、くじゅうの自然を紹介した手作りの展示や、実物に触れることのできるハンズオン展示の制作・更新を随時行う。

(3) 英語での利用案内・解説ができる者を、週3日以上配置し、利用案内や展示の国際化に努める。

(4) 九重の自然を守る会、環境省パークボランティアの協力により、土・日曜・祝日等、利用者が多い時期に、タデ原湿原木道を利用して、自然観察会(2時間)を実施する。

(5) 毎日、午前と午後に、職員による、タデ原のミニガイドウォーク(30分間)を実施する。

(6) 随時、職員による自治体および学生の視察研修などの受け入れを実施する。

(7) ビジターセンターで、毎月第4日曜日を中心に、くじゅうの自然に関わる人達を講師に、くじゅうの自然の魅力について学ぶ、公開講座「サロン・de・くじゅう」や、大学などの専門家による講演会を実施し、幅広い世代の利用者に、くじゅうの魅力や課題を伝えるとともに、楽しさを提供できるようサービスの充実に努める。

(8) 「トイレde写真館」を継続し、公共空間を活かしながら、くじゅうの魅力発信を行う。

(9) ビジターセンターの情報提供誌「長者原だより」を春・夏・秋・冬の計4号発行し、会員および関係各所に配布する。また、タデ原の自然情報を、随時、近隣のホテル・旅館に提供する。

(10) タデ原のパンフレット(九重町作成)の英語化及び韓国語化を実施・制作し、配布を行う。

(11) ビジターセンターカウンターで、利用者へ物品の販売を行うとともに、くじゅう地域の自然を紹介する、オリジナル商品の制作を行う。

(12) インターネットのブログやフェイスブックを活用して、くじゅう地域の最新の自然情報を配信する。フェイスブックにおいては、海外の利用者への情報提供として、英語併記を行う。

3. くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動

(1) 九重の自然を守る会等と連携しながら、くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動を随時行う。(外来種駆除活動等)

(2) 牧ノ戸峠駐車場および登山口周辺において、ごみの状況確認及びごみ収集を適時行う。

- (3) 自然公園クリーン作戦等に協力し、美化意識の普及啓発を行う。
- (4) 飯田高原野焼き実行委員会に協力し、タデ原の防火帯づくりおよび野焼きを実施する。
- (5) くじゅう地区高山植物保護対策協議会に協力し、高山植物保護パトロールを実施する。
- (6) 環境省・日本自然保護協会の「モニタリングサイト 1000 里地調査」として、タデ原湿原周辺の植物相について、九重の自然を守る会と連携しながらモニタリング調査を行う。

4. 地域での環境教育活動

- (1) 地元子どもたちに対し、くじゅう地域の自然環境保全活動を推進するため、地域教育に協力する。

5. 登山道等の保全・維持管理作業

- (1) 関係各所と協力して、随時登山道等の保全作業を行う。
- (2) 登山道の老朽化している道標については、新たに制作し、交換作業を行う。

6. 利用者への適正な指導

- (1) 国立公園のマナー啓発や登山利用等について、随時、利用者へ適正な利用指導を行う。
- (2) ゴールデンウィークやミヤマキリシマ、紅葉の繁忙期に、くじゅう連山最大の登山口である牧の戸峠登山口にて、登山マナーや登山届の提出を呼びかける、登山ミニレクチャーを実施し、登山者に対するマナーの普及啓発活動を行う。
- (3) くじゅう地区管理運営協議会で制作した、公園利用のためのマナーチラシの配布（日本語・韓国語・英語版）を行う。

7. その他業務

- (1) ビジターセンターの管理運営の向上を目的として、先進地等へ職員を派遣し、視察研修を行う。
- (2) 全国草原再生ネットワークや、西日本自然史系博物館ネットワークに加盟し、くじゅう地域のPR活動を行うとともに、会員に随時情報提供を行う。
- (3) 「くじゅう坊ガツルタデ原湿原」が、ラムサール条約に登録されてから、10周年の記念の年を迎えることから、全国のラムサール条約登録湿地の子どもたちが集まり、湿地保全に関する経験や知識の交換・交流を深める、「*KODOMO ラムサール in くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」（7月18日（土）～20日（月・祝））を開催する。
- (4) 2016年から始まる国民の祝日「山の日」（8月11日）に先立ち、九重町で行われる「山の日」制定イベント全国大会の運営に協力する。

*KODOMO ラムサールとは

ラムサールセンターがこれまでアジアを中心に継続・成功させてきた「国際子ども湿地交流活動」の成果を基礎に、ラムサール条約登録湿地の子どもたちを対象に、湿地保全に関する経験や知識の交換・交流を深め、ラムサール条約の精神を普及し、湿地保全活動により多くの参加を促すことを目的に行っている交流事業のこと。

平成27年度 予算(案)

(収入の部)

項目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
前年度繰越金	1,966,022	847,812	1,118,210	
前年度繰越金(運営管理3ヶ月分)	3,200,000	1,900,000	1,300,000	4～6月分運営管理費等
負担金	2,310,000	2,335,000	▲ 25,000	負担金収入内訳(案)参照
賛助会費	50,000	50,000	0	賛助会費収入内訳(案)参照
ビジターセンター(VC)管理受託	14,580,000	14,148,000	432,000	※1 国立公園バリューアップ事業等
長者原園地・トイレ清掃管理受託	966,600	939,600	27,000	※2 環境省別枠委託事業
雑収入	17,378	9,588	7,790	預金利子、イベント参加料等
物品販売費	600,000	600,000	0	
収入合計	23,690,000	20,830,000	2,860,000	

(支出の部)

項	目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	比較増減	摘要
会議費		200,000	200,000	0	総会等
管理費	人件費	13,250,000	11,750,000	1,500,000	
	基本給	8,582,400	7,509,600	1,072,800	正規職員×4
	各種手当	2,207,520	2,159,000	48,520	厚生年金、健康保険、雇用保険等
	社会保険	1,463,388	1,401,261	62,127	
	その他	996,692	680,139	316,553	臨時職員等
	研修交通費	400,000	380,000	20,000	職員研修、自然情報収集交通費等
	VC等施設管理費	820,000	900,000	▲ 80,000	コピー機リース、特別清掃、活動報告書等
	水道光熱費	50,000	150,000	▲ 100,000	水道組合負担金
	通信運搬費	300,000	250,000	50,000	協議会通知等・電話・インターネット料金
	消耗品費	780,000	850,000	▲ 70,000	トイレトペーパー、清掃用品、展示用パネル等
	備品費	400,000	500,000	▲ 100,000	入口スタンド看板×2、ペピーカー、折りたたみ机×3等
	修繕費	80,000	80,000	0	芝刈り機修繕等
	情報費	150,000	150,000	0	新聞・図書
計	16,230,000	15,010,000	1,220,000		
事業費	販売物品仕入費	800,000	900,000	▲ 100,000	
	自然環境保全費	220,000	200,000	20,000	野焼き活動、クリーン作戦、外来種
	利用者サービス	1,280,000	1,770,000	▲ 490,000	観察会、公開サロン、清掃ボランティア、タデ原マップ(英語・韓国語)印刷等
	登山道等保全作業費	780,000	400,000	380,000	杭、ロープ、道標製作等
	80周年記念事業費	0	150,000		
計	3,080,000	3,420,000	▲ 340,000		
特別会計繰出金		280,000	0	280,000	KODOMOラムサール
予備費		3,900,000	2,200,000	1,700,000	次年度4～6月分運営管理費等
合計		23,690,000	20,830,000	2,860,000	

※1 平成26年度から5年間の限定的に、環境省からのVC管理受託金が増額。また、平成27年度から、VC管理受託にタデ原湿原木道の保守業務が追加されたため、VC管理受託金が増額。

※2 平成25年度までトイレ・駐車場清掃管理も含めた包括的な管理受託だったが、平成26年度から別枠での管理受託。

平成27年度 負担金収入内訳(案)

(単位:円)

負担者	本年度予算額	前年度予算額	比較増	摘要
大分県	185,000	185,000	0	
九重町	1,000,000	1,000,000	0	
竹田市	100,000	100,000	0	
九重・飯田高原観光協会	150,000	150,000	0	
筋湯温泉観光協会	100,000	100,000	0	
釜ノ口温泉観光協会	30,000	30,000	0	
久住高原観光協会	50,000	50,000	0	
飯田高原観光株式会社 (長者原ヘルスセンター)	45,000	45,000	0	
株式会社おおいた観光サービス (オーベルジュ・コスモス)	45,000	45,000	0	
やまなみ観光株式会社 (レストハウスやまなみ)	45,000	45,000	0	
株式会社九重西鉄ホテル	0	35,000	▲ 35,000	
有限会社みやま商店 (ドライブステイ みやま)	25,000	25,000	0	
寒の地獄株式会社 (寒の地獄旅館)	10,000	10,000	0	
有限会社星生温泉 (九重星生ホテル)	30,000	30,000	0	
学校法人福岡大学	200,000	200,000	0	
株式会社セイビ九州 (ホテルやまなみ荘)	20,000	20,000	0	
株式会社まきのとコーポレーション (九重観光ホテル)	10,000	10,000	0	
九重ヒュッテ	10,000	10,000	0	
株式会社エル・ランチョ・グランデ	10,000	10,000	0	
有限会社牧の戸峠レストハウス (牧ノ戸峠売店)	20,000	20,000	0	
九重町飯田農業共同組合 (飯田高原ドライブイン)	20,000	20,000	0	
有限会社法華院温泉 (法華院温泉山荘)	30,000	30,000	0	
有限会社くじゅう倶楽部	20,000	20,000	0	
九重森林公園株式会社	30,000	30,000	0	
株式会社橋本建設	25,000	25,000	0	
株式会社ア・マ・ファソン (オーベルジュ ア・マ・ファソン)	20,000	20,000	0	
株式会社星野リゾート (界 阿蘇)	20,000	20,000	0	
飯田高原デザイン会議	10,000	10,000	0	
NPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	10,000	10,000	0	
一般財団法人セブン・イレブン記念財団 (九重ふるさと自然学校)	10,000	10,000	0	
有限会社吉武建設 (くじゅうやまなみキャンプ村)	20,000	20,000	0	
くじゅうネイチャーガイドクラブ	10,000		10,000	平成27年度新規加入
負担金計	2,310,000	2,335,000	▲ 25,000	

平成27年度 賛助会費収入内訳(案)

(単位:円)

負担者	本年度予算額	前年度予算額	比較増	摘要
九州横断観光株式会社 (朝日台レストハウス)	10,000	10,000	0	
九州電力株式会社 (八丁原発電所)	10,000	10,000	0	
九州林産株式会社 (湯布院事務所)	10,000	10,000	0	
福岡県中学校体育連盟	10,000	10,000	0	
福岡県高等学校体育連盟	10,000	10,000	0	
負担金計	50,000	50,000	0	

特別会計
平成27年度 KODOMOラムサール 収支予算(案)

(単位:円)

(収入の部)

項目		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
前年度繰越金		320,000	0	320,000	
一般会計繰入金		280,000	0	280,000	
KODOMOラムサール負担金	九重町	500,000	0	500,000	
	竹田市	520,000	0	520,000	
経団連助成金		750,000	0	750,000	
参加者負担金		210,000	0	210,000	5,000円×42人
収入合計		2,580,000	0	2,580,000	

(支出の部)

項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
事業費	謝金	244,000	20,000	224,000	
	旅費	1,525,000	250,000	1,275,000	
	食費・宿泊費	707,420	36,000	671,420	
	消耗品費	20,000	0	20,000	
	通信運搬費	5,000	0	5,000	
	印刷・製本費	30,000	0	30,000	
	雑費	40,000	0	40,000	
	計	2,571,420	306,000	2,265,420	
予備費		8,580	14,000	▲ 5,420	
支出合計		2,580,000	320,000	2,260,000	

●くじゅう地区管理運営協議会 構成員

協議会規約第7条

1	役員	会長	九重町	町長	坂本 和昭
2		副会長	竹田市	市長	首藤 勝次
3		理事	阿蘇自然環境事務所	所長	森 一弘
4		理事	大分県 企画振興部 観光・地域局	局長	阿部 邦和
5		理事	九重・飯田高原観光協会	会長	武石 良一
6		理事	筋湯温泉観光協会	会長	吉谷 充浩
7		理事	釜ノ口温泉観光協会	会長	弘明
8		理事	久住高原観光協会	会長	神田 長徳
9		監事	有限会社 みやま商店	社長	熊谷 薫
10		監事	おおいた観光サービス(オーベルジュ・コスモス)	取締役支配人	中野 豊文

協議会規約第9条

11	幹事	幹事	くじゅう自然保護官事務所	自然保護官	中村 仁
12		幹事	大分県 企画振興部 観光・地域局 景観・まちづくり室	室長	廣瀬 高博
13		幹事	大分県 生活環境部 生活環境企画課	課長	山本 章子
14		幹事	九重町商工観光・自然環境課	課長	麻生 通教
15		幹事	竹田市久住支所 産業建設課	課長	安達 敬一
16		幹事	九重・飯田高原観光協会	副会長	渡邊 秀雄
17		幹事	有限会社法華院温泉(法華院温泉山荘)	代表取締役	弘藏 岳久
18		幹事	株式会社おおいた観光サービス	代表取締役	奥村 伸幸
19		幹事	九重の自然を守る会	理事長	渡辺 格雄
20		幹事	九重森林公園株式会社	取締役支配人	高橋 裕二郎
21		幹事	有限会社牧の戸峠レストハウス(牧ノ戸売店)	支配人	古賀 透
22		幹事	有限会社星生温泉(九重星生ホテル)	常務	安部 智子
23		幹事	一般財団法人セブン・イレブン記念財団(九重ふるさと自然学校)	代表	川野 智美

24		大分森林管理署	署長	川畑 宏二
25		大分西部森林管理署	署長	秋山 郁男
26		株式会社まきのとコーポレーション(九重観光ホテル)	代表取締役社長	小池 由明
27		飯田高原観光株式会社(長者原ヘルスセンター)	社長	原口 嘉哲
28		やまなみ観光株式会社(レストハウスやまなみ)	取締役	上田 恒久
29		寒の地獄株式会社(寒の地獄旅館)	社長	武石 良一
30		学校法人福岡大学	副学長	馬本 誠也
			法人事業部長	森 美智雄
31		株式会社セイビ九州(ホテルやまなみ荘)	支配人	森山 信行
32		株式会社エル・ランチョ・グランデ	代表取締役	瀬戸 富美
33		九重町飯田農業協同組合(飯田高原ドライブイン)	課長	濱田 由紀夫
34		有限会社くじゅう倶楽部(くじゅう倶楽部)		佐藤 克聡
35		九重ヒュッテ	支配人	山口 幸三
36		大分県立社会教育総合センター 九重青少年の家	所長	丸尾 研治
37		飯田高原デザイン会議	議長	高橋 裕二郎
38		NPO法人久住高原みちくさ案内人倶楽部	理事長	上好 温
39		株式会社 橋本建設	社長	渡邊 始枝
40		株式会社ア・マ・ファソン(オーベルジュ ア・マ・ファソン)	社長	小幡 洋二
41		株式会社星野リゾート(界 阿蘇)	総支配人	伊藤 靖兼
42		有限会社吉武建設	代表取締役	吉武 勝広
43		くじゅうネイチャーガイドクラブ	代表	増田 啓次

協議会規約第11条

事務局	事務局長	九重の自然を守る会	事務局長	小山 正記
	事務局	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループリーダー	工藤 和典
	事務局	九重町商工観光・自然環境課	自然環境グループ	日隈 慶子
	事務局員	長者原ビジターセンター	センター長	種村 英大
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	村松 優子
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	鳥越 遥
	事務局員	長者原ビジターセンター	自然解説員	山下 由貴子

●くじゅう地区管理運営協議会 賛助会員

朝日台レストハウス	社長	中西 克忠
九州電力八丁原発電所	所長	福田 孝一
九州林産株式会社 林業部	部長	松尾 正真
福岡県中学校体育連盟	部長	横尾 卓彦
福岡県高等学校体育連盟	専門委員長	濱田 晃

くじゅう地区管理運営協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、くじゅう地区管理運営協議会（以下「協議会」という）と称する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所を大分県玖珠郡九重町大字後野上 九重町役場 内に置く。

(目 的)

第3条 協議会は、長者原ビジターセンター等施設の維持管理並びにくじゅう山群における自然環境保全活動及び利用者への適正な指導を行いくじゅう地区の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 長者原ビジターセンター等施設の管理運営
- (2) くじゅう山群及び長者原地区の自然環境保全活動
- (3) 公園利用者への情報提供
- (4) 登山道等の保全・維持管理作業
- (5) 公園利用者への適正な指導
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(構 成)

第5条 協議会は、次の者をもって構成する。

環境省・大分森林管理署・大分西部森林管理署・大分県・九重町・竹田市・飯田高原観光協会・筋湯温泉観光協会・釜ノ口温泉観光協会・久住高原観光協会・長者原地区及びくじゅう山群に関係する個人又は団体

(賛助会員)

第6条 協議会の目的に賛同する者を幹事会又は役員会に諮り賛助会員とすることができる。

(役 員)

第7条 協議会に、次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	1名
理 事	若干名
監 事	2名

- 2 会長は九重町長とし、副会長、理事及び監事は、構成員の中から互選により決定する。
- 3 役員任期は、2年とし再任を妨げない。

(役員職務)

第8条 協議会役員は、それぞれ次の事務を所掌する。

- (1) 会長は、協議会を代表し会務を掌理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は会長の職務を代行する。
- (3) 理事は、会務を執行する。
- (4) 監事は、会務及び会計を監査する。

(幹事)

第9条 協議会の運営に関する業務を処理するため幹事を置く。

2 幹事は、構成員の中から幹事会又は役員会に諮り会長が委嘱する。

(顧問)

第10条 協議会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、役員会に諮り会長が委嘱する。

(事務局)

第11条 協議会の運営を円滑に行うため事務局を置く。

2 事務局長は、幹事会又は役員会に諮り会長が委嘱する。

(職員)

第12条 本会の業務を遂行するため、職員を置く。

2 職員は会長が任命する。

3 職員は有給とすることができる。

(会議)

第13条 協議会の会議は、総会・役員会・幹事会とし会長が招集する。

2 総会は、毎年1回開催し会長が議長を務め予算・決算・事業計画・規約改正その他必要事項を決定する。

3 役員会は、必要に応じて開催する。

4 幹事会は、随時開催し会の活動企画立案を審議する。

(会計)

第14条 協議会の経費は、次のものをもって充てる。

(1)負担金及び助成金

(2)寄付金

(3)その他の収入

(資産の管理)

第15条 協議会資産は、会長が管理し、その方法は役員会の議決による。

(会計年度)

第16条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(雑則)

第17条 本規約に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

(附則)

第18条 本規約は、昭和58年8月1日から施行する。

改正、平成16年5月21日

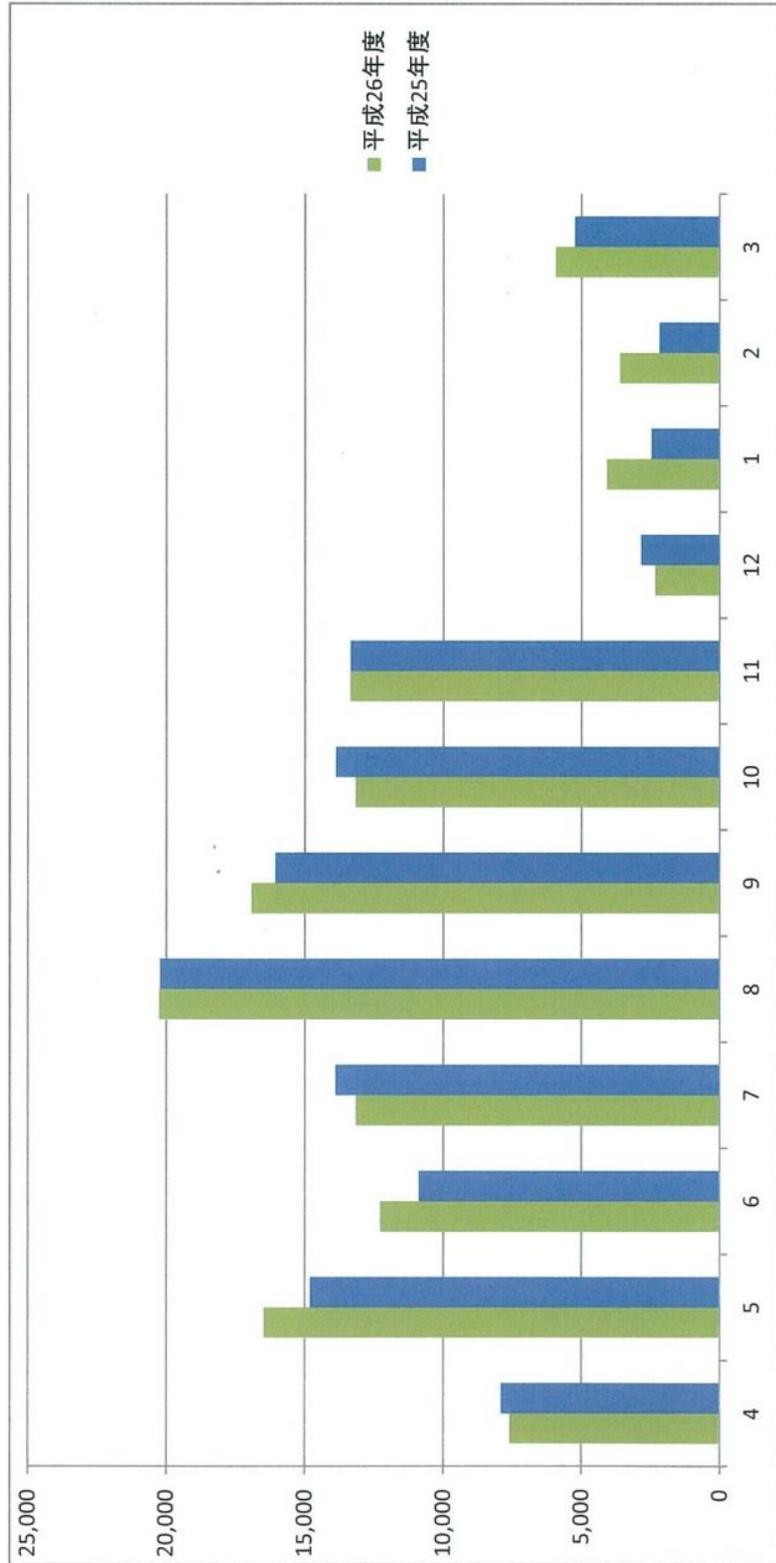
改正 平成17年6月 3日

改正 平成18年5月30日

改正 平成22年6月 1日

入館者数 累計比較

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
平成26年度	7,605	16,461	12,274	13,160	20,256	16,928	13,162	13,357	2,337	4,092	3,623	5,953	129,208
平成25年度	7,913	14,802	10,875	13,886	20,228	16,051	13,881	13,353	2,859	2,482	2,196	5,249	123,775



長者原VC累計入館者数

周年	年目		入館者数	備考
	1	平成 9年度	15,814	7/18に新VC開館。数値は7月～3月末までの集計値。年度計は22,312人。
1	2	平成10年度	43,446	
2	3	平成11年度	42,160	
3	4	平成12年度	32,590	
4	5	平成13年度	32,077	
5	6	平成14年度	27,869	
6	7	平成15年度	31,190	
7	8	平成16年度	33,560	
8	9	平成17年度	32,614	
9	10	平成18年度	37,693	
10	11	平成19年度	33,508	
11	12	平成20年度	33,340	
12	13	平成21年度	74,597	
13	14	平成22年度	78,756	
14	15	平成23年度	96,703	当年度より休館日なし、開館時間9時に。職員3名体制で管理運営開始。
15	16	平成24年度	114,377	
16	17	平成25年度	123,755	
17	18	平成26年度	129,208	3/28展示改修リニューアルオープン
		累計入館者数	1,013,257	(人)

くじゅうの魅力知っていますか？

サロン de くじゅう

毎月第4日曜日開催！

14:30～15:30 長者原ビジターセンター1階

時間帯が変わりました！

「サロン de くじゅう」は、毎回さまざまな分野からゲストを招いて、くじゅうの自然について、その魅力や課題を語ってもらう、ビジターセンター公開サロンです。(申込不要・参加費無料)

日時/場所: * 毎月第4日曜日 14:30～15:30 / 長者原ビジターセンター1階 オープンスペース

*主催者の都合により、日時と場所を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

第1回 野と山の環境歴史学

～くじゅう・阿蘇を中心として～

5/24(日) 長者原ビジターセンター
センター長 種村 英大



くじゅうの野と山はいつから、だれの手によって維持されてきたのだろうか。山岳信仰が果たした自然環境の維持とは？江戸時代に描かれた、くじゅう地域の絵図などを紹介します。

神奈川県出身。2007年に九重町に移住。
別府大学歴史文化総合研究センター非常勤研究員。

第2回 登山のキホン 初級編

～地形図を読み、登山計画を立てて山に行こう！～

6/28(日) くじゅうネイチャーガイドクラブ
代表 増田 啓次

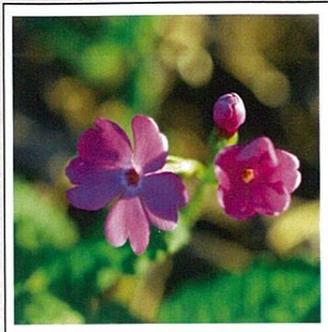


地形図を読み込む基礎を学習しながら、概念図の作成や、コンパスの使い方、登山計画の立て方などを、レクチャーします。山の新たな楽しみ方を見つけましょう！

福島県会津出身。1997年東京から九重町に移住。
2009年くじゅうネイチャーガイドクラブ結成。
日本山岳ガイド協会認定ガイド。

主催：長者原ビジターセンター

問い合わせ先：0973-79-2154 (9:00～17:00)



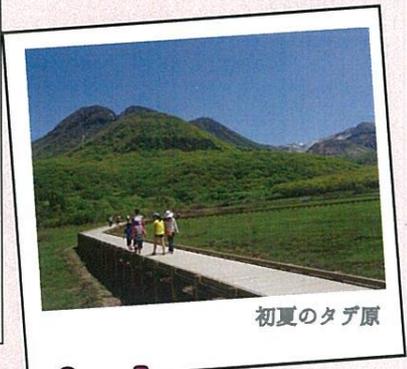
サクラソウ



沢水キャンプ場



樹氷を作る道



初夏のタデ原

トイレde写真館 コンテスト開催のお知らせ

写真のテーマ

くじゅうのココに惹かれます。
「私の好きなくじゅう」

あなたの好きなくじゅうを、紹介してみませんか？



平治岳から見たくじゅう連山



ヒゴタイ

応募期間：平成27年6月1日～8月31日 締切：8月31日（当日付のメール有効）

応募方法：電子メールにて送付。（持ち込み写真は受け付けません。）

メールには、住所・氏名・電話番号・連絡のとれるe-mailアドレス・
公表名（ハンドルネーム可）・写真のタイトルを必ず記載のこと。
（どれかひとつでも欠けていた場合、審査できないことがあります。）

↓↓↓送付先はコチラ↓↓↓

長者原ビジターセンター トイレde写真館係
chojabaruvistor@yahoo.co.jp

携帯からの応募も
出来ます！
応募先QRコード▼



1) 応募規定

阿蘇くじゅう国立公園のくじゅう地域で撮影したもの、またはそれに準ずるもの。
電子データであること。画像のサイズは2MB以上。
携帯電話で撮影したものも可。
白黒・カラーは問わない。
写真内の人物が特定できる場合は、肖像権の了承を得ていること。

2) 応募点数：1人3点まで

3) 公表方法

選考のうえ、長者原地区の公衆トイレ（タデ原公衆トイレ・泉水山公衆トイレ）
「トイレde写真館」に掲示（平成27年10月～平成28年9月予定）。
その他、掲示の様子を長者原ビジターセンターfacebook等にアップすることがあります。

金賞/銀賞/銅賞 入賞者には、
2000円相当の
長者原オリジナルグッズを
プレゼント！！

（入賞者は、賞品の発送をもって
かえさせていただきます。）



長者原ビジターセンター (TEL 0973-79-2154)